

横三地区交通安全大会 P T A 研究発表

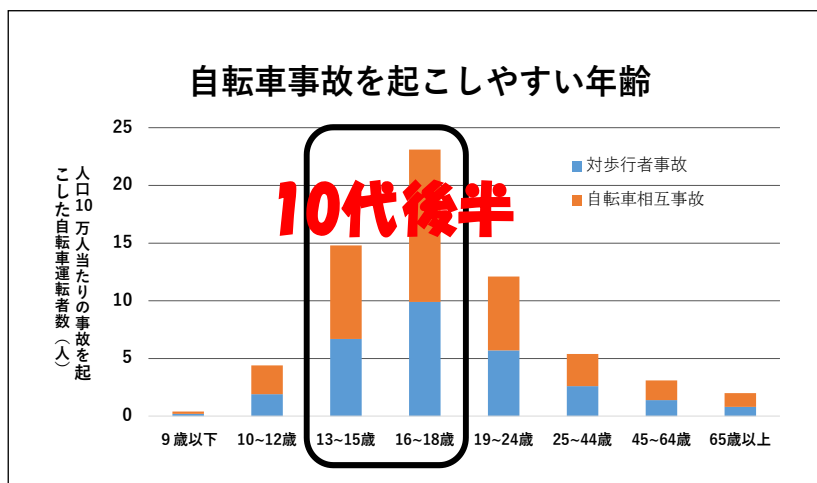
大楠高等学校 P T A 交通安全委員会

大楠高等学校 P T A

研究テーマ「自転車事故と若者の特性」

1 はじめに

大楠高校 P T A 交通安全委員会では、若者の交通事故の特徴や、その原因、防止対策などを、在校生のアンケートを通して日頃の交通安全活動の効果、生徒の意識を分析することにより有効な交通安全対策を探る大変興味深い研究発表が行われました。

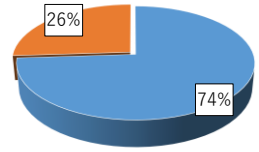


1年間の活動です。

- ① 下校見守り隊
- ✓ ② P T A 交通安全教室
テーマ「自転車のマナー」(1年生のみ)
- ✓ ③ 交通安全アンケート
テーマ「二輪車」
- ✓ ④ アンケート結果の分析と発表
文化祭での掲示と広報誌への寄稿

- ・スマホを使いながら
- ・イヤホンをつけて
- ・二人乗り
- ・傘を差しながら
- ・二人以上横に並んで
- ・むやみにベルを鳴らす
- ・ブレーキがきかない
- ・車道の右側
- ・歩道で高速を出して
- ・ライトを点けない

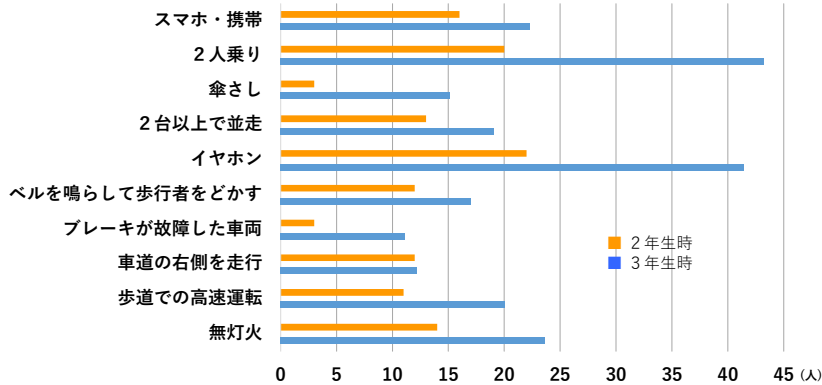
Q. これらがすべて道路交通法違反であることを知っていますか？



**ルールは、
分かっている**

■ 知っている ■ 知らない

H28年度入学生（現3年生）の申告違反人数



**違反だと分かっている
違反している！**



最悪の事態を知らないから？

- ・自転車を週三回以上利用している
- ・歩行者を死亡させたり重症を負わせたりした場合、**1億円近い賠償金**の支払いを命じられることがある、ということを知っている

35名 その中で危険運転をしていない生徒 11名

★違反だとわかっているのに違反をしてしまう。危険な運転が重大事故を招く危険性があると知っているのに危険運転をしてしまう。一体どうしてだろう？

結論

どうすればいい？

正しい知識だけでは、危険運転を予防できない！

★脳科学から見てきたこと。

自制心を司る部分。若者は未発達。

若者の脳の特徴

- 自制心がききにくい
- リスクを犯しやすい
- 周囲の影響を受けやすい
- 習慣にしたがって行動しやすい

スマホ運転などの違反運転をしたことがあると答えた生徒のうち、複数の種類の違反運転をしたことがあると回答した割合

75%

1つルールを破ったら、ほかのルールも破りがち！

バイクで違反運転をしたことがあると回答した生徒のうち、自転車でも違反運転をしたことがあると回答した割合

94%

自転車で違反する人は、バイクでも違反しがち！

★自転車とバイクの意外な相関関係！

★ 一度危険な運転を経験してしまうと、ルール違反に対する規範意識が下がり、違反行為や危険運転が習慣化する傾向が見えてきた。また、自転車でルール違反が習慣化すると、オートバイを運転してもルール違反を犯しやすくなる傾向が見えてきた。

若者の自転車事故を防ぐには

- ① 危険な運転を習慣化しない
- ② 夜間など、見通しの悪い時間帯に自転車で遊びに行かない

結 論

習慣と**環境**

★危険運転の習慣をつけない。危険運転をしてしまうような環境に出さない。

今回の研究成果を今後の交通安全活動に活用して運動を展開していきたいと最後に締めくくられました。